

神奈川異グ連の活動状況を伝える機関紙 <第41号>

かながわ異グ連ニュース

発行：神奈川県異業種グループ連絡会議 事務局長 芝 忠

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センター5F

TEL045-633-5142 FAX045-633-5194

Email:zan25564@nifty.com http://www.kanagawa-iguren.com

(独) 中小企業基盤整備機構の主催「日本最大級の中小企業ビジネスマッチングイベント」

中小企業総合展2006 in Kansai に出席して

芝忠

平成18年(2006)1月25～27日の3日間、インテックス大阪にて、(独) 中小企業基盤整備機構の主催で「日本最大級の中小企業ビジネスマッチングイベントー 中小企業総合展2006inKansai」が開催された。昨年10月12～14日、東京ビッグサイトで開催された「中小企業総合展2005inTokyo」の大阪版である。東京は約600社、大阪は約300社の出展でした。従来の複数の中小企業関連展示会を一本化したものです。

出展企業は「一般枠」と「異業種交流枠」があって、「異業種交流枠」で出展した企業に対して、(財)中小企業異業種交流財団がマッチングコーディネータを配置して具体的な商談推進に力を注ぎました。神奈川異グ連に私のほか、4人のマッチングコーディネータの派遣要請があり、東京には村上先生、島津(龍)先生、大阪には八幡先生、小林先生に出席頂きました。

私は東京7社、大阪3社を担当しましたが、出展者同志の交流があまり効果が出ず、むしろ場外での交流を現在推進中というところではあります。他の先生が大変面白い経験をしているので紹介します。通常ですと出展ブースを訪問しても短時間の商品説明に終わるわけですが、3日間も通うと色々な話が出てきます。特に郷里の話がたまたま岡山県で共通したというのが数ブースで発見、中には小学校も同じだったという場合もあって、さすが大阪会場です。こうなると人間的信頼関係が急速に深まり、別ブースの同郷人と仲良くなって商談が進んだ例もありました。使用木材をわざわざ岡山県産を使うというので、よく聞いて見ると岡山県産だったとか。これも材質が岡山県産だとマッチングコーディネータの知識があったから。また乾物菓子の中に産みつけられる虫の卵を低温殺菌する技術を、別ブースの竹製品の中に潜む虫退治に応用しようという出会いもありました。卵が孵って竹の中から出てくると竹に穴を開けて商品価値が下がるのだそうで、そういう悩み事というか、基本技術課題まで知らないとお会いが成立しません。使いやすい本物指向で製作したカバンの販売について、別ブースの小物を扱っている業者の販売ルート活用のケースもありました。通販で取り上げるという大手の話は、量が出ても利益率が非常に低く、その業者のルート販売の方が有利です。

盆栽用に活用出来る小さな模型を見るために、私の担当の光学機器業者からルーペを借りました。出展者は自分が見えるために必要ないと思っていたようですが、客が小さくて見えないという不満を漏らしていたようで、ルーペは大変好評でした。結局展示会終了後に出展者が女性同志という気安さから、無償で進呈されました。出展者はもっと早く気がつけば良かったと言っていますが、考えが及ばなかったようです。

今回のマッチングコーディネートの試みは成功したと言えますが、問題はコーディネータが担当していない業者の面倒もみるという結果が生じたことです。私も中小企業異業種交流財団のブースに座っていたときに、いきなり出展者の一人が相談に來られ自分の製品の販路開拓について依頼されました。展示会終了後努力すると回答しましたが、筆者らは中小企業展の出展者全部に責任を負っているわけではないので、多少当惑します。

逆に担当以外のブースにも面白い商品・技術があってマッチングして効果があったということもありました。私も航空・宇宙開発関連部品調達支援プロジェクトから見て必要だろうと考え、機械加工関連の共同受注グループや企業を尋ね、資料を配付して説明しました。そういう予想外の成果も喜ぶべきことだと思いますが、いわゆる担当機関の範囲外となると、難しい問題が発生します。一方コーディネータ同志の情報交換も重要で、相互に担当している業者の出会いのきっかけを創ったり、専門分野の話を聞いてもらったりしました。

了

お知らせ 2006全国異業種交流・新連携フェアー「異業種交流・新連携によるビジネスチャンスの創造」

目的：活力ある中小企業の異業種交流を促進すると共に、技術・ノウハウを相互に補完しながら高付加価値の製品・サービスを創出する新たな連携(新連携)を推進することを目的に開催します。

日時：平成18年2月21日(火)10:00～17:00、22日(水)10:00～16:00

会場：東京都立産業貿易センター浜松町会館

内容：ブース展示、無料経営相談、ビジネス交流会、基調講演「目指せトップシェア」他

主催：(財)中小企業異業種交流財団(03-3584-0707)、(独)中小企業基盤整備機構

後援：経済産業省中小企業庁、商工組合中央金庫 <http://www.igyoshu-fdn.or.jp/h17plaza/>

産学官交流サロンのコーナー

新サロンの開設

第1回西湘サロン(仮称)開催の案内

川崎、横浜、横須賀と順次開催してきた「個人に着目した常設の産学交流サロン」を、小田原地域に開設します。(神奈川新聞2月8日掲載)

日時:3月13日(月)18:00~

場所:あいおい損保小田原支社3F
(小田原市城山1-6-22瀬戸ビル)

話題提供:「小田原とわが社の経営」
瀬戸建設株式会社 瀬戸良幸氏

お問合せ等:045-633-5142 異グ連
西湘サロン代表幹事 島津俊之

よこはまサロン

今回都合により休止します。次回
は3月を予定しています。

お問い合わせ:045-633-5142

担当幹事(芝、池谷 杉本)

第13回かわさきサロン案内

当サロンは2004年2月25日に
スタートして丸2年が経過しまし
た。当サロンは自由な個人参加
のネットワーク形成を通じて、地
域活性化の突破口を拓くことを意
図していました。

最近になり参加者が減少した
こともあり、今回は初心に帰っ
て、本サロンのあり方、将来発展
の方向を話し合いたいと思ってお
ります。

テーマ:「川崎サロンの発展と今後
の展開」 スピーカ:芝忠(予定)

日時:2月28日(火)18:00~

場所:KSP西棟310会議室

お問合せ等:045-633-5142 異グ連

メール:s-tanaka@saturn.dti.ne.jp

川崎サロン代表幹事 田中繁夫

第12回よこすかサロン報告

「切迫する巨大地震に対する木造住
宅の耐震対策」というテーマで(有)ドウ
イングリハウスの落合社長から、三浦半
島の断層が知られているようで案外知
られていないこと。巨大地震がいつ起
こっても不思議でないこと。このための対
策を安全・確実・安価にやることが出来
るという「恐怖と安心」の話題が提供さ
れた。*****

第13回は「知らないと損する会社法
務問題」を具体的事例を交えて、弁護士
から発信していただきます。

日時:3月22日(水)18:00~

場所:神奈川新聞社横須賀支社5F

お問合せ等:TEL 045-633-5142 異グ連

横須賀サロン代表幹事 八幡敬和

NPO 産業クラスター研究会

鶴野省三 046-836-6785

お知らせ

H17年度かながわコンソーシアム事業成果報告会

【日 時】平成18年3月15日(水) 13:30~19:00

【場 所】神奈川中小企業センター14階多目的ホール (横浜市中区尾上町5-80)

【参加費】無料(交流会参加者は、2000円)

【プログラム】○基調講演『中小企業の連携と新事業戦略』東成エレクトロビーム株式会社 上野 保氏

○成果報告 15:10~17:10 ○交流会 17:30~19:00

【主 催】(財)神奈川中小企業センター企業化支援部交流支援課(045-633-5192)

かながわ異グ連の会員グループやプロジェクトの状況

オールディーズ・シニア・クラブ

小林BC

盛況だった新年会！ Y校「横浜おためしイロハハ計画」の話題

1月13日(金) 横浜中華街の「富筵(ふえん)」で新春定例会(新年会)を開催しました。時間の都合等で普段中々出席しにくい会員の方々、特に議会議員のメンバーも多数出席されて総員31名となり、入りきれないほどの賑やかさでした。(普段の定例会での出席者は20名前後です)。

河村会員のとおきの手品を満喫したり、情報交換に話を咲かせたりで、時間の経つのも忘れるほどでした。

それら話題の中で、横浜市立横浜商業高校(通称Y校)の出身者である坪倉会員から、母校のイベントについて支援している話がありました。Y校では学んだビジネス知識を實社会で実践する学習を設けており、「自分の住む地域を紹介しよう」という郊外体験講座がありますが、これが発展して横浜を他都市に宣伝しようという「横浜お試しイロハハ計画」が2年前から推進されています。

「イロハハ」とは、横浜のさまざまな魅力のうち、**体験**(体のイン偏)、**味**(味の口偏) **楽しさ**(白と木を除くとハハとなる)をキーワードにまとめたものです。ターゲットを同世代の旅行とし、他都市の中学・高校生が横浜に修学旅行などで訪れるよう訪問説明を続けております。この2年間で現在323校、48,150人の生徒に横浜を紹介しておりますが、このたび、「生徒による2年間の全国行脚報告会」を2月12日(日)午後、Y校体育館で報告会が開催されました。大盛況の内容を紙面の都合で次回にご紹介しようと思っております。なお当クラブもミニクラブの「イベント・クラブ」を中心にY校と連携し支援したいと考えています。

第3回 国際異業種交流会議

岡田めぐみ

2月4日(土)に国際交流パーティー企画会議を行いました。こんなことやりたい! あんなことやりたい! と様々な意見が飛び交いました。今後の国際交流会に反映して行きたいと思いますので、ご期待下さい。さて、2006年3月4日(土) JICA 横浜にて行うアメリカ大学進学セミナーのご案内です。

講師は、Trans Pacific Hawaii College (トランス・パシフィック・ハワイカレッジ) の事務局長です。

日時: 3月4日(土) 18:00~20:00

場所: JICA横浜 セミナールーム3

対象: アメリカ大学進学希望者とその保護者

内容: アメリカの試験制度、合格後の手続き、米国での学生生活体験談など素朴な質問から受け付けます。

参加費: 無料

主催: 国際交流支援協議会 協力: 関西外国語大学、横浜留学センター

電話: 045-222-6205 Email: tphc@ies-world.com

会場地図 <http://www.jica.go.jp/yokohama/jimusho/index.html>

e-mail: ycrc@ies-world.com 担当岡田めぐみ

問い合わせ・申し込み: ご参加ご希望の方は、2月28日(火)迄に上記メールアドレスまたは、FAXにて異グ連事務局: 国際交流支援協議会宛 氏名、会社名、電話番号を記載の上、お申し込み下さい。 FAX: 045-633-5194

シフト21

有村BC

「シフト21」は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループで、業種・業態を問わない幅広い交流を目的として、原則第二火曜日に定例会を開催しています。

さて、**2月定例会は2月14日(火)**午後6時半から神奈川県民センターで行います。今月は「**保育サービス業者からみた少子化の現状と今後の社会の取り組みとは?**」のテーマで、有限会社チャイルドサービス遊 代表取締役 竹沢佐知子様にお話いただきます。

また**3月定例会は3月14日(火)**午後6時半から神奈川県民センターで「**新会社法のポイント解説~既存の会社はどう対応する? (仮)**」のテーマで、当会員の服部和生氏(中央青山監査法人代表社員・公認会計士)にお話をいただきます。

シフト21ではゲストの皆様の参加を歓迎しております(初回参加は無料)。お問合せは有村までお願いいたします。

hda00467@nifty.ne.jp

高機能舗装プロジェクト

織方BC

今年もテクニカルショウヨコハマ2006へ出展し好評であった。今回はPR戦術を若干修正して、展示はパネル、サンプル、試験機材に限定しました。パンフレットも名刺を受理したお客様だけに、後日メールまたは郵送でお送りすることにしました。より関心の高い見込み客のみに、効率良く確実にお届けとフォローを行おうという試みです。結果は資料をお送りしたお客様の反応を待つ評価してみたい。

お客様の関心は、2次製品に対しても高く、例えばバリアフリー対策(視覚障害者向けのエスコートライン等福祉関連)や環境保全面での産業廃棄物活用、透水生・保水性路面をもった特質を利用したのヒートアイランド対策への活用等々、今後ますます産学公連携の必要性を大いに感じた次第です。

日韓ビジネス協議会

高橋BC

第60回・日韓ビジネス協議会は1月26日(木)に(社)神奈川中小企業センター5階・会議室にて開催しました。

協議会の内容は下記の通りで出席者は13名でした。

- 日本企業紹介/南西建設(有)/ベンチャー認定商品: 害虫駆除バンド、樹木保護バンド、小型生ごみ処理機など: 代表取締役 鈴木俊英氏
- 韓国・開城工業団地について: 駐横浜大韓民国総領事館領事 姜明逸氏
- スーパーサーバーの韓国での販促活動について: (株) ベイシティサービス 営業本部次長 昆 茂氏
- 徳島大学・赤松教授の今世紀の画期的な発電方式である「電界効果発電(電子発電)」について: (株)アトム技研 代表取締役 西村 勲氏

第61回定例会は下記の通り開催致します。

1. 日時: **2月23日(木)**・・・午後3時15分~5時15分 定例会
午後5時15分~6時15分 懇親会
2. 場所: 神奈川中小企業センタービル・・・5階 会議室
3. 内容: 今年4月1日施行の改正の「高年齢者雇用安定法について」
メイン講師: 社会保険労務士たくま事務所 詫摩知子氏
関心ある企業の参加を歓迎致しますが参加時には必ず事務局の高橋まで連絡して下さい。 会費: 1,000円
TEL: 045-311-0094、MAIL: mtakahas@tb3.so-net.ne.jp

尾上町サロン(毎月第一、第三金曜開催中) やってます!! はやってます!!

開催日: 2月17日、3月3日・17日、4月7日、21日 pm5:30~7:30

場所: 神奈川中小企業センタービル5F 神奈川県異グ連事務局

会費: 500円(現物支給でも構いませんよ!)

予約不要、気楽に、ぶらっとお出でくださいますよう!!

まんてんプロジェクト、JASPA関係

千田BC(JASPA 社長)

- 1、1月19日にまんてん全体会合を神奈川中小企業センター6Fにて開催し40名の参加があった。
 - ①□まんてんプロジェクトの業務展開について、山之内製作所の山内社長から今後の業務展望について報告。
 - ②□ゲストスピーカの日空渡辺氏から航空部品について中小企業が参入できる新しい分野の紹介。
 - ③□JAXAの清水氏から最近話題となっている小惑星探査機「はやぶさ」の成果について紹介。
- 2、1月17日に(財)フォーリンプレスセンターが主催する在京海外メディアを対象とする「宇宙に挑むー横浜町工場」ツアー13ヶ国14名の記者が(株)オービタルエンジニアリング、(株)山内製作所、(株)JASPAを訪問し、日本の航空宇宙産業の実情、まんてんの取り組みについて長時間にわたり取材した。早速韓国ハンギョレ紙に掲載されました。(下記に記事を紹介しました)
- 3、1月3日のジャパントイムズにまんてん、JASPAの記事が大きく掲載されました。
- 4、神奈川県産業技術総合研究所に、JASPAの三次元超精密形状測定サービスに関する技術協力を依頼した成果として、大型航空機部品の形状測定の仕事を受注した。

<韓国ハンギョレ紙>掲載記事

注)一部修正追記しています。(修正文責は異グ連事務局(広報))

「どんな削り難い材料でも思い通りに作ります」日本の横浜中心街から内陸に入った片倉の住宅街の一角にある**「株山之内製作所」**。この会社の半地下式工場では、複合旋盤が休みなしにニッケル合金の塊から、複雑な形状を削りだしている。古びた工場外観とは想像がつかないジェットエンジンの精密部品を作りだしているのだ。

当社は1964年に創業し、現在従業員70人で自動車部品や電気機器部品を作っていた。日本での量産加工の時代が幕を閉じ始めた20年ほど前に、これからの延びる産業分野として有望な宇宙・航空分野に目を向けた。軽いチタン・アルミニウム・マグネシウム等の難削材の超精密加工が必要である。誤差が数ミクロンという超精密加工が得意な当社にとって好都合であった。

2005年2月に打ち上げられた運輸多目的衛星の太陽電池パネルに、当社の製品が使われている。また日本の企業としては初めて国際宇宙ステーションの部品も受注した。宇宙・航空分野での売上が全体の3~40%までになった。山内慶次郎(47)社長は「他社で何人もの人で行う作業を、わが社は1人で完成させます。当社のように早くて、安く、精密なし事ができる企業は他にはない」と自信満々だ。

ここから車で40分ほど離れた道端に1軒の古い建物がある。小売商店と変わらない10坪あまりの空間は、衛星に使われる断熱材を生産する工場だ。半導体工場等で見られる白いクリーン作業服を着た社員たちが、ポリマイトという最先端の断熱材を裁断縫製している。+150度C~-150度Cと温度差が極端な宇宙空間でも耐え、宇宙線や紫外線にも強い高分子プラスチックフィルムであるポリマイトを、10枚ほど重ねて衛星の外装パネルを作る。60cm X 20cmのパネル一枚が180万ウオンもする高価品であり、製作に20時間ほどかかるのだ。**「株オービタルエンジニアリング」**というこの会社は社員が10人だけだが、宇宙機器の断熱設計では世界一流である。2005年7月に打ち上げられたエックス線天文衛星の断熱外装材がこの会社の製品であり、アメリカ、ヨーロッパの企業等とも業務提携が始まっている。

宇宙・航空分野でこれら「町工場」(マチコウバ)の活躍は驚くほどだが、中小企業が日本の宇宙産業の基礎を築くという理念のもと、共同事業を本格化している点がさらに注目に値する。横浜・東京の「町工場」を中心に71社が参加する異業種交流組織**「まんてんプロジェクト」**のメンバー企業は、ここ6ヶ月の間に120件を受注した。今年を受注件数が3倍以上となる見込みである。共同受注のみならず、個別企業が分担して生産した製品・部品の品質保証もする。国内外の大企業の製品に劣らない信頼感を与えるためだ。このため「まんてんプロジェクト」の事業化プロジェクトで創業した**「株JASPA」**に1億円のドイツ製3次元測定装置を導入した。

「まんてんプロジェクト」は2003年9月にスタートした。東大阪市中小企業グループの「まいど一号」の打ち上げ計画が大きな刺激となったのだ。「これからは、大企業を介さず海外に直接技術を売ろう」という趣旨で組織を結成した。

中略

「町工場」の悩みも少なくない。宇宙に向けた挑戦はまだ初期段階であり、この分野での比重が少ない企業が大半である。なにより日本の宇宙産業があまりにも貧弱で安定的な需要の確保が出来ない。山口耕司(42)株オービタルエンジニアリング社長は、「日本は宇宙分野では産業というより開発水準に有り、ロケット打ち上げが一度失敗すれば仕事があたると落ちるなど、ジェットコースターに乗った気持ちだ」と言う。

以上

ご投稿を歓迎いたします。かながわ異グ連事務局(広報) tel 045-633-5142、fax 045-633-5194